

音声ガイド：地獄の昆虫

晩春から夏にかけて、温泉を通る道沿いでいろいろな昆虫が見られる。そのうちのひとつにハンミョウがある。日本列島に生息する最も大きいハンミョウは、体長 20 ミリメートルほどだ。光沢のあるハンミョウは、尖ったはさみを使って、蟻やミミズを食べる。また、ハンミョウには道教えと案内する、という意味のあだ名が付けられた。ハンミョウに近づいたら、2、3メートル先にジャンプすることだろう。ついて行くと、何度も何度も飛び跳ねて、まるで道を行く先導として助けてくれているようだ。

雲仙を住処とする昆虫は他にもたくさんいて、たとえばハサミムシや、夜に鳴き声が聞こえるイエコオロギなどだ。観察すると、他の甲虫、蛾や蝶などたくさん見つけられる。もし天然の昆虫を見つけれなかったら、雲仙お山の情報館を訪れると、保存されている標本を間近で見られる。